

ゲノム編集技術を利用して作製された 細胞等に関する特許侵害対策

2018年10月18日

特許業務法人

HARAKENZO

WORLD PATENT & TRADEMARK

弁理士 中尾 守男

本日の内容

- 1. ゲノム編集技術の出願動向と権利化状況**
- 2. CRISPR-Cas9に関する特許について
考慮すべきこと**
- 3. ゲノム編集に関する出願事例、特許事例に基づく
侵害対策の検討**